

# 和歌山県地域医療構想（御坊保健医療圏構想区域）

## 第4回調整会議議事録

### 1. 会議日程

- (1) 開催日 平成29年3月13日（月）
- (2) 開催場所 御坊保健所 別館 大会議室
- (3) 開会時間 午後1時15分
- (4) 閉会時間 午後1時52分

### 2. 議事

- (1) 地域医療構想と公的病院のあり方について
- (2) 療養病床に係る新たな施設類型について
- (3) 重症心身障害児施設の病床に関する取扱いについて

### 3. 出席委員（14名）

所属団体等	役職	氏名	備考
日高医師会	会長	高辻 幹雄	
日高歯科医師会	会長	柏木 健生	
日高薬剤師会長	会長	鈴木 操	
和歌山県看護協会日高地区	理事	空山 直子	
国保日高総合病院	院長	曾和 正憲	
独立行政法人国立病院機構和歌山病院	院長	南方 良章	
社会医療法人黎明会北出病院	院長	尾崎 充	
紀伊クリニック	管理者	川端 良樹	代理：部長 川端秀樹
全国健康保険協会和歌山支部	企画総務グループ長補佐	中嶋 暁生	
美浜町健康推進課	課長	野田 佳秀	代理：保健師 武内律子
由良町住民福祉課	課長	山口 毅	代理：主査 中井光代
印南町住民福祉課	参事	山本 雅一	代理：保健師長 岩崎佳江
日高川町保健福祉課	課長	栗本 富人	代理：副課長 遠藤邦代
御坊保健所	所長	土生川 洋	

### 4. 欠席委員（4名）

所属団体等	役職	氏名	備考
整形外科北裏病院	院長	北裏 清剛	※委任状提出有
医療法人寺田医院	理事長	樫谷 益生	〃
御坊市健康福祉課	課長	栄土 新吾	〃
日高町健康推進課	課長	西 裕子	〃

### 5. 委員随行者等（5名）

所属団体等	役職	氏名
国保日高総合病院	事務長	小川 周司
	事務次長	畑 忠良
独立行政法人国立病院機構和歌山病院	事務部長	木村 一夫
社会医療法人黎明会北出病院	管理部長	塩崎 伸介
整形外科北裏病院	事務長	久保 洋司

### 6. 事務局出席者

所属	職名	氏名
日高振興局健康福祉部	部長	西岡 義高
御坊保健所	次長	御影 伸司
	総括専門員	形部 裕昭
御坊保健所総務健康安全課	主任	皿山 真也
	主査	和田 圭司
御坊保健所保健福祉課	課長	西岡 倫代

午後 1 時 15 分開会

○議長（御坊保健所長 土生川洋）

議事の「（１）地域医療構想と公的病院のあり方について」事務局から説明をお願いします。

○事務局（御坊保健所総括専門員 形部裕昭）

〔資料 1－1「地域医療構想と公的病院のあり方について」、資料 1－2「地域医療構想と公的病院のあり方」により説明〕

○議長（御坊保健所長 土生川洋）

資料 1－1 の 4 ページに各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の方向性（案）を示している。御坊圏域については、病院機能の分担が比較的良好にされている現状であり、具体的な連携については、今後、病院等のご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

資料 1－1 の 2 ページには、再編・ネットワーク化のメリットについて記載している。ここに記載している診療材料等の共同購入といったことも一つの検討材料としてはどうかと考えている。

ご意見、ご質問等はないか。（意見等なし）

ご意見等なければ、議事の「（２）療養病床に係る新たな施設類型について」事務局より説明をお願いします。

○事務局（御坊保健所総務健康安全課主任 皿山真也）

（資料 2「療養病床に係る新たな施設類型について」により説明）

○議長（御坊保健所長 土生川洋）

国における検討状況について報告をさせていただいた。事務局から説明のあったとおり、今後、具体的な介護報酬や施設基準、あるいは転換支援策などが国から出されれば、その都度、情報提供していきたいと考えているので、よろしくをお願いします。

ご意見、ご質問等はないか。（意見等なし）

ご意見等なければ、議事の「（３）地域医療構想における『重症心身障害児施設の病床』の取扱いについて」事務局より説明をお願いします。

○事務局（御坊保健所総務健康安全課主任 皿山真也）

（資料 3「地域医療構想における『重症心身障害児施設の病床』の取扱いについて」により説明）

○議長（御坊保健所長 土生川洋）

今回の取扱いは、地域医療構想の親計画である医療計画の考え方と整合性をもたせたものであり、和歌山県では、これまで率先して国に要望していたところ、国の合意を得たということである。

重症心身障害児施設の 160 床分については、既存病床数から控除することとなるが、2025 年の必要病床数については従来からの変更はない。

なお、病床機能報告については、引き続き、重症心身障害児施設の病床についても報告していただくこととなる。

ご意見、ご質問等はないか。

○委員（全国健康保険協会和歌山支部企画総務グループ長補佐 中嶋暁生）

今回の重症心身障害児施設の病床を控除する取扱いとした場合、御坊圏域では、慢性期病床が不足することになり、これまで、2025 年の必要病床数に向けて、回復期病床への転換を考えていればよかったが、今後、慢性期病床への転換も考えていかないといけないという理解でよいか。

また、これについては、和歌山県では、那賀圏域と御坊圏域の特有の課題ということによいか。

○事務局（御坊保健所総括専門員 形部裕昭）

ご質問のとおりである。御坊圏域では、慢性期病床が不足することになる。ただし、全体の病床数をみれば、なおも過剰であり、単純に慢性期病床を増やせばよいというわけではなく、慢性期病床を増やすのであれば、急性期等からの転換ということになる。

また、御坊圏域と那賀圏域に関しては、慢性期病床が不足する圏域ということになる。

○議長（御坊保健所長 土生川洋）

他にご質問、ご意見等はないか。（なし）

ご質問等ないようであれば、「今後の対応方針（案）」について、本会議の了承を得たということ

にさせていただきますので、よろしく願います。

本日予定の議事は以上であるが、全体を通じてご意見、ご質問等はないか。(なし)  
他にないようであれば、本日の会議を終了させていただきます。

午後1時52分閉会